

# 市民の声を市政に

## Kirishima City

### 19人がより良い市政を目指して

# 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、19人の議員が一般質問を行いました。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。全ての質問と回答は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ること、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

霧島市議会 中継

**問** 地域医療構想の中で医師会医療センターの位置づけ、始良・伊佐保健医療圏における医療機能の分化と連携、及び病床数の削減と、地域医療の充実、機能強化をどのように考えるか。

**答** 医師会医療センターは、始良・伊佐医療圏の中核病院として、診療科目等の医療提供だけでなく、将来の病床機能の在り方、医療と介護が総合的に確保される地域包括ケアシステムの構築、更に病床数のみの議論でなく、地域の実情に応じ、質の高い医療を効率的に提供する体制を確保する。



### 地域医療の将来展望を示せ

プレミアム付き商品券は公平で消費者の立場に立った事業展開を

**問** 20%のプレミアム付き商品券事業は、販売窓口において大変混乱したとのことだが、より公平で、消費者の立場に立った、販売方法の工夫と改善が必要だと考えるが、見解を問う。

**答** 今まで以上に販売窓口の体制整備を図ったが、20%のプレミアムを設定したことで、想定以上の多数の方々が、買い求められ、多くの方に迷惑をおかけした。今後は、これまでに以上に公平で円滑な販売が行えるよう、関係機関と連携し、十分に調査、研究し、次の機会に活かしたい。

**その他の質問**  
・国民健康保険制度の展望について

### コミュニティバスの在り方について



**問** 各地域、学生から高齢者の利用に最適なコミュニティバスの在り方について、定期バス運営会社と共同での運営体制はできないか。



**答** 公共交通の在り方については、コミュニティバス検討委員会や地域公共交通会議において、地域の声を聴き、ご意見の

### 不登校・特別支援教育へのきめ細かな対策を



**問** 文部科学省は、不登校への在り方や発達障害のある児童生徒について「きめ細かな教育指導や教員の資質向上などに取組むこと」を通知している。また、「個別支援計画」は、保護者との協議で進められるべきと考えるが市の取り組み状況はどうか。

**答** 不登校への対応では、国分・隼人に教育支援センターを設置し組織的に対応している。特別支援教育では、「個別的教育支援計画」を策定し保護者との合意形成を図り支援員の適正配置に努めている。

内容を含め、本年度中に公共交通網形成計画を策定していきたい。交通体制充実のほか、より一層の利便性・利用客増に努めていきたい。

### 各種団体等への助成・補助金の在り方について

**問** 各種団体・協会・民間団体などへの助成及び補助金が、平成17年度から年々減り半額になっている協会等が多くある。活動内容によっては助成すべきと思う。適正化の検証はされているのか。

**答** 国・地方ともに厳しい財政状況が続いている。社会経済情勢の変化に伴う価値観等の多様化に柔軟に対応しながら、適正かつ効果的な補助事業の執行に努めていきたい。

**その他の質問**  
・地域活性化について  
・市ごみ収集委託業務について

### 安保法案（戦争法案）に対する市長の見解は



**問** 安保法案は、その違憲性を多くの憲法学者や元最高裁長官が指摘している。若者を戦場に送る法案について、自衛隊基地を擁する霧島市の市長としての見解はどうか。

**答** 「戦争放棄」を明記した憲法9条や98条、99条についてはどうか。

**問** 国際情勢が大きく変化の中で、安全保障は大変重要な問題であり、重大な関心を持って、その推移を見守っている。将来にわたって平和な社会が続くことは誰もが願っている。国会において十分議論されることを期待している。

### 豪雨災害対策を急げ

**問** 隼人町東郷の橋之口地区における豪雨災害対策は、「治水事業の優先箇所と認識している」としており、市長も「この地域の災害には大きな危機を感じる」と答えているが、計画の具体化はどのように議論され、進められようとしているか。

**答** 同地区については治水対策事業の優先箇所として認識し、事業導入に向けて関係機関との協議を行っている。平成26年度にはポンプ場の設置に必要な用地の一部、268㎡を取得した。今後、新しい補助事業も検討する。

**その他の質問**  
・医療制度問題について



### 鹿児島湾の海底火山は大丈夫か

**問** 鹿児島湾に2ヶ所あると言われる海底火山が噴火すると、約3分から6分後に約9mの津波が到達すると予想されているが、現在の海底火山の状況と関係住民や影響のある学校等への周知について、どのようにしているか。

**答** 現在、海底火山が活動している兆候はみられない。海底火山は有感地震が少なくとも一日間継続し、山腹噴火が発生した後の噴火であり、いきなりの噴火は考えられない。今後も前兆現象に注意し、市民や学校等へも早めの情報提供をしたい。

### 防災無線放送について



**問** 8月15日午前防災無線でいきなり「噴火警報が発表されました。避難準備をしてください。」との放送があった。場所がどこかわからず、市民はどうしたらよいか大変心配されたと思う。この放送はどこが流したのか。

**答** 今回の放送は緊急情報として国から直接流されたものであり、場所を含めて不十分な内容のため、市民の皆様に変な迷惑をお掛けした。今後は、消防局とも十分な連携を取り、迅速で正確な情報提供に努めていく。

